

## 第4回 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会 議事録（要旨）

- 1 日 時 2020年11月30日（月） 14時00分～16時00分
- 2 場 所 豊岡市役所本庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者 《委員》（委員名簿順） 18名中13名出席（欠席5名）  
浅野 良一会長、中川 茂副会長、西谷 佳代委員、中島 章博委員、宮崎 裕紀委員、二方 道正委員、平尾 洋委員、小田 知子委員、高階 正夫委員、増田 克志委員、加藤 勉委員、貝口 志保委員、藤田 明治郎委員  
（欠席）河本 美佳委員、西垣 浩文委員、澤田 雅子委員、綱木 直美委員、木村 尚子委員  
《事務局》  
嶋 公治教育長、堂垣 真弓教育次長、飯塚 智士こども教育課長、木下 直樹こども育成課長、永井 義久教育総務課長、木之瀬 晋弥参事兼課長補佐、野崎 律男学校再編推進室長、細田 正徳係長、太田垣 輝尚主任
- 4 傍聴者 非公開につき傍聴者なし
- 5 主な内容
  - (1) 挨拶  
浅野会長から挨拶  
※ 内容については、「6 主な発言内容等（要約） (1) 挨拶」のとおり
  - (2) 議事  
ア 報告事項  
(ア) 五荘小学校・奈佐小学校、港東小学校・港西小学校の統合準備委員会での調整協議終了について  
(イ) 中竹野小学校の統合に関する要望書について  
事務局より、五荘小学校・奈佐小学校及び港東小学校・港西小学校の統合に向けた準備の進捗状況及び中竹野小学校の統合に関する要望書提出の動きについて説明を行った  
※ 委員からの質問等については、「6 主な発言内容等（要約） (2) 報告事項に対する質問等」のとおり  
  
イ 協議事項  
(ア) 適正規模・適正配置（案）及び再編の枠組み（案）についての再検討について  
（地域別意見交換会での意見等を踏まえての見直し）  
※ 委員からの質問等については、「6 主な発言内容等（要約） (3) 協議事項」のとおり
- 6 主な発言内容等（要約）
  - (1) 挨拶  
《会長》  
皆さんこんにちは。第4回の審議会でございます。今回の審議会は、先日開催された意見交換会で出ました意見の中で、審議会に持ち帰るという事項がいくつかございました。それにつきまして議論をいただくということの中軸に進めていきたいと思っております。この後は原案

等に収れんしていきますので、重要な会議だと思えます。ぜひ、活発なご意見をいただけたらと思えます。本日はよろしくお願ひします。

(2) 報告事項に対しての質問等

- ア 五荘小学校・奈佐小学校、港東小学校・港西小学校の統合準備委員会での調整協議終了について
- イ 中竹野小学校の統合に関する要望書について

《会長》

報告事項が2つあった。1つが五荘小学校と奈佐小学校、そして港東小学校と港西小学校の統合準備委員会の調整終了の話、そして中竹野小学校の統合に関する要望書の話である。これについては報告事項であるので、ご質問があればお受けしたい。

(なし)

(3) 協議事項

- ア 適正規模・適正配置（案）及び再編の枠組み（案）についての再検討について  
(地域別意見交換会での意見等を踏まえての見直し)

《会長》

それでは次の議事に入る。ここからは協議事項である。まずは適正規模・適正配置（案）及び再編の枠組み（案）についての再検討について、事務局から説明をいただく。

《事務局》

(事務局説明)

地域別意見交換会における意見の主な内容と傾向、PTA等への個別意見交換会の開催状況について説明する。その後、意見交換会に参加しての感想、意見の内容やアンケート結果についての感想等を各委員からお聞かせいただきたい。

《会長》

事務局から意見交換会の主な意見や傾向について説明いただいた。また、PTA等での個別の意見交換会の開催状況についても報告いただいた。そして、事務局から投げかけられたように、意見交換会に参加いただいた方はその感想をぜひお話しいただきたい。そうでない方も、意見やアンケートの資料を見られていると思うので、それについての感想を伺いたい。審議会に持ち帰るとした事項については、その後に審議したい。それでは、質問を含めていただいても結構なので、一通り皆さんにご意見をいただきたい。

《A委員》

概ねここに書かれている意見のとおりだと思う。11月18日、19日の2日間、小小連携で竹野の3小学校が竹野小学校で、6年生は竹野中学校で合同授業があった。保護者のアンケートでは、竹野小学校の保護者も「多い人数で子どもが生き生きしていた」とか、「子どもが

家に帰ってから、体育や音楽の合奏など一緒にしたことをとても楽しそうに話をしている」といったような、特に低学年の保護者からは早く統合して欲しいという意見が多かった。竹野小学校の場合は、学校が無くなる訳ではないので、歓迎するというか、保護者も概ねそのような意見だと思う。

もう一つ、建替えの問題があって、施設一体型小中一貫校に対しては、保護者の方も夢というか希望というか、子どもたちにとって良い教育ができるのではないかという手ごたえはある。ただ、資料にも書いてあるが、場所であるとかは、竹野南地区から来るとなると遠いので、その辺の問題をどのようにクリアしていくかが今後の課題だと思う。

#### 《B委員》

保護者向けも地域向けもどちらも参加した。やはり保護者は早く統合して欲しいという要望が強いが、地域の方はいろんな課題を感じておられると思った。子どものためには早くした方がいいのは分かるが、地域として学校が無くなることは今後の地域にとってマイナスになる、という思いが非常に強いということが質問やいろんなところから聞こえてきた。そのあたりをどのように埋めていくのか、地域の方に学校が統合することによっての不安や今後の新しい展望などをどのように示すことができるか、少し考えながら聞かせていただいた。もちろん、保護者も地域住民も一生懸命でおられるので、決して後ろ向きではないが、方向が少し違うのかなと思った。

#### 《C委員》

意見交換会に参加したが、全体的にちょっとピリッと緊張したようなムードが流れていたように思う。竹野の場合、中竹野小学校の統合への方向性が決まったので、竹野南小学校の方へのケアがより一層必要ではないかと強く感じた。

小学校の小小連携の時も、普段よりも児童が増えて、すごく楽しそうにしている、体育も普段できないことができたりしていて、概ね子どもたちは喜んでいる感じだった。竹野南小学校の保護者と話をすることがあったが、「正直ここまで来るのが大変だね」というような意見が強いので、交通の便については、バスしかないと思うが、うまくクリアしていけたらと思った。

#### 《D委員》

城崎地域の方々と話す機会があり、港東小学校・港西小学校の統合のスピード感に驚かれていた。声が上がってからこんなに早く統合に向けた動きが進んでいくものなのかと言われていた。城崎の統合に向けた雰囲気は正直感じられないというのが受けた印象だが、今回の適正規模・適正配置審議会が立ち上がって、城崎の10年後の子どもの人数や港地区の子どもの人数を改めて確認することができて、城崎地域の方々からも統合に向けての前向きな意見も少なからず出てきていると感じている。

城崎は観光客で賑わっている。その中で、小学校も中学校も街の中にあるので、子どもたちが登下校で浴衣の観光客と一緒に歩いている姿が、それが風情があるのか、はたまた危険なのかというところの問題が出てきている。特に下校時間はチェックインの時間と重なるので、車の行き来が多く非常に危険だという印象がある。その中で、城崎と港で統合に向けた話になる

なら、場所の問題も大きな検討課題になるのではないかと考えている。大きな話で、桃島バイパスの整備を城崎の方々が一生懸命前向きに話をされているが、もし一つになるのであれば、桃島バイパス沿いに新たな学校をという意見もある。そうなれば非常に安心だと感じている。

#### 《E委員》

出石では、目の前に見えているところとして、寺坂小学校と小野小学校が挙がっているが、最終的なビジョンとして、出石の全小学校の統合という意見が出されていて、ここへの筋道をどう立てていくかが非常に難しい話となってくる。とりあえず小さいところ同士を統合して3つの小学校にして、将来的に1つに統合するというビジョンになると、再度統合することとなる。これは避けたいという考えが非常に多いが、ただ、一度に1つの小学校にとすると、それだと最優先としている小学校をどうしていくかという問題が出てくる。案としては、小さくなった学校から順に1つの小学校に統合していくという段階的な方法もある。出石という環境上、中心に1つ小学校があって、周辺に他の学校があるという関係だが、大多数の方が納得できるような案を示すのが非常に難しいと思う。

特に、この審議会の話が出る前から統合を促す話がいっぱいあった学校もあるが、地域住民の方の反対が強かったというところがあって、統合について議論がずっとあった土地柄であり、ある程度こちら側から強引に推し進めないと難しいのではないかと感じる。

ただ、再統合は避けたいというのは基本線であると思う。3人兄弟で3人とも小学校が違うというような状況は避けたいという感情はある。ではどうしていくか、なかなか、全ての人を納得させることは難しいのかなと感じている。

#### 《F委員》

資料を見て、全体的に、「子どもを様々な人と関わらせたい」という意見や、「競争相手が必要」、「部活動の選択を広げたい」という意見がたくさん見られた。就学前の子どもたちの保護者も、友達との関わりの中で育てていきたいと思っておられる方もおられて、いろんな子育てイベントに参加させて、子どもを子どもの中で育てようとされている方も結構いる。「学校が統合されることで地域から活気がなくなるのではないか」という意見もあるが、そのことはまた別で考えていただいて、子どもたちのためにどうあるべきか、今よりもっといい環境で良い教育で育てていってあげたいと思った。

#### 《G委員》

たくさん意見が出ていて、読むのが大変だった。一生懸命考えていただいている方が多いと思ったが、出席者があまり多くないように思った。素案に対する意見は、概ね了解をいただいたような雰囲気ではないかと感じている。何が何でも反対という意見も、説得力を持つような有力な反対論はないように感じていて、素案については8割方はこれでいいのではないかと感じていただいたのかなと、勝手に受け止めている。その中で、この案を進めていくにあたって、いろんな課題があるが、それらについては丁寧に解決する手段をしっかりと示すことが大事ではないかと感じている。

## 《H委員》

地域住民向けの意見交換会に参加した。送られてきた資料を見て、また、今日の報告で、意見交換会とは別に呼ばれて教育委員会が説明に行かれた地区・PTA等があると聞いて、その地域ではいかに関心が高いのだなと感じた。意見交換会の参加者は、但東は人口の割にはずば抜けて多いのではないかと思った。

あるお母さんが思うように言えなかった意見を教育委員会に聞いて欲しいということで、教育委員会の方に個別に来てもらって、お母さんたちの意見交換会をされた。わずか9人ではあったが、初めて、各地区のお母さん方が集まって本音で話をされていた。教育委員会の方がおられても、率直な思いどんどん話をされていて、初めて真剣に話をする機会になった。地域の枠組みを外して、子育てをしているお母さん方が親としていろんな考えを共有できたことはいい機会になった。

地域の意見交換会に出た感想は、やはり声が大きくて強く言われる人がおられて、そこで自分の意見を発表するという事は、特に若いお母さん方であれば、本当に大変だろうなという印象を受けた。それでも各地域の中で声を上げて、私たちはこういう考えで、このようにして子育てをしていきたいということ、勇気を出して、一人ではなく、何人か、同志というか、仲間ができたので、地域の中で声を上げて、区長さんなり、年配の方々にも、自分たちの気持ちや考えを理解してもらって、地域が一つに意見がまとまらないと、なかなか動かないなという印象を受けている。でも、そうやって、各地区やPTA、子育てグループでは話をしに来てくださいと、熱が、関心がグッと高まっているので、このタイミングで一気に行って欲しいと思っている。

## 《I委員》

保護者向け、地域向けと2回参加させていただいた。参加して少しがっかりしたのは、関係者ばかりという感じであった。私は、区長さんやコミュニティの会長さんに来て欲しいと思っていた。前段は保護者向けだからと思ったが、2回目の地域向けは、その地域のリーダー、区のリーダーである方に話を聞いて欲しいと思っていたので、特に該当校区の方がゼロだったのが非常にショックだった。今後、この統廃合をやっていく上では、住民の周知であったり、住民の理解を得るように持っていかないと、やはり行政が勝手にやったという形になってしまうと、面白くない結果が出てしまわないかと思う。

先ほど別の委員が言われたように、地域性が全然違う。即統合した学校もありながら、ズルズル引っ張っているという学校もある。地元の小学校でも、先が見えているのに、言っているのに来ていない。ただ、学校評議員会の中で校長先生がはっきりとこのことを周知されたので、これからPTAなりがどう感受されて意見交換をする場を持って前に進んでいけるのか、という感じは期待している。ということで、地域を巻き込んでこの統廃合の問題を考えていく必要があると思う。関係者だけが先走っているような感じが若干したように感じた。

## 《J委員》

報告事項にもあったように、五荘小学校と奈佐小学校、港東小学校と港西小学校の統合が、令和3年ということで、少し刺激を受けたのか、中竹野小学校も合意形成が図られて令和4

年に統合。それらを受けて、竹野南小学校も刺激を受けたのではないかと思う。中竹野小学校の統合に向けた準備委員会を立ち上げれば、もっと刺激を受けることになると思う。

竹野は特に施設一体型小中一貫校ということで、意見交換会で話があった。これについては、保護者の期待は非常に大きいと思っている。となると、地域から言うことはなかなか難しいので、PTAの方から大きな声を上げていただいて、「これは子どものためになるから、これに私たちは期待するんだ」と言われたら、地域が「ならば応援してあげようか」と言えるように持っていくのが一番いいと思う。ぜひ若い人たちに声を上げていただきたいと思う。

#### 《K委員》

日高地域の八代小学校と静修小学校の保護者に意見を聞くと、「できるだけ早く日高小学校に統合して欲しい。ただ、一番心配されるのは、大半が夫婦共働きの家庭が多いから学童だけは受入れをしっかりとできるようにして欲しい。」とのことだった。八代小学校は学童がしっかりしているので、日高小学校に編入された場合、学童に入れないということになると困る。それが一番案じられる。できるだけ早く統合してもらいたいと言っている。少ない小学校というのはちょっと良くないと思う。静修小学校の1年生は2人である。運動をするにしても何をすることも何もできない。広い教室に2人きり。できたら早く統合した方がいいと思う。

先日の意見交換会に行っても、地域の年配の方が、小学校が無くなるのは反対だ、寂しくなる、ということと言われる。学校は子どものためにあるもので、年寄りのためにあるわけではない。子どものことを最優先で考えてもらって、統合してやって欲しい。八代小学校については、「府中小学校に行ったら、また統合しないといけなくなるかもしれないので、いきなり日高小学校に行きたい。同じような距離なので、同じ統合するならそっちの方がいい。」と、先ほどの保護者は言っていた。

#### 《L委員》

日高の地域住民向け意見交換会に参加した。そこにしか行っていないが、他の会場とは違い、異様な雰囲気意見交換会だった。発言をされた方は数名で、2回発言された方もあったが、全て、複式学級解消に反対に近い、あるいは統合はしなくていい、という話だった。他の会場はどうかと思い資料を見ると、それぞれ双方が意見を言われていた。また、当日のアンケートの結果を見ると、内容は逆転している。どちらかというとな賛成に近い意見が半分以上あった。出席者は保護者より年配の方が多く、かつて自分も子どもも反対の発言をされた方にお世話になったということもあったりして、更には、最初にそういった方々が反対だと強く言われたので、なかなか賛成意見を出しにくい雰囲気だったと思った。事を運ぶ難しさを改めて感じた。

意見を見せていただいたが、膨大な資料で、見ていると訳が分からなくなるほどであったが、もらった資料を整理してみると、複式解消の賛成者と反対者とでは、同じビデオを見ても極端に捉え方が違う。あのビデオを見て、「競争相手がいないというのはつらい」「いろんな意見を持っている子がいるので、本人も他の意見を聞き、違った意見を出すことができるようになった」「少人数には限界がある」というような意見がたくさんあった。ところが、反対者からは、「ビデオでは複式のデメリットだけを強調している」とか、「偏ったビデオの視聴をやめ

て欲しい」という意見があったし、他の会場でも同じような意見があった。

アンケートで見ると、事務局から先ほど分析した数字を言われたが、私は、もう少しザクっ  
と言うと、保護者は、意見交換会でもアンケートでも、8割ぐらいが基本的には審議会の中  
間案に賛成だという意見だった。住民の方では、意見交換では半分くらい、アンケートでは  
もう少し数字が上がっており、日高会場と同じような結果が出ていた。課題についてはいく  
つかあるが、先ほど言われたように、反対の言い分をされる方になんとかうまく理解して  
もらって、子どもたちの教育環境が良くなる点について、理解を示してもらうことが必  
要だと思う。ぜひ、皆さんの意見を聞かせてもらえたらと思う。

もう1点、他の委員から竹野の話があったが、現在の案では、3小学校が竹野中学校の敷  
地内で施設一体型小中一貫校としているが、審議会の方針はもちろんその方向でいいと思  
うし、竹野南小学校の方にも強力に働きかけていただいて、一斉にスタートできればと思  
う。

#### 《会長》

一通り意見をいただいた。自分の参加されたエリア以外の様子もある程度分かったの  
ではないかと思う。この後、審議会に持ち帰った課題について議論していくが、今の話を  
聞いて、今回の審議会でも、ここここは基本中の基本だと、ブレないように、そうい  
ったことについて議論していきたい。もちろん、要望は取り込んでいくわけだが、子  
どものためにやっていくんだとか、いくつかブレない点が必要だと思う。その辺を  
確認しながら、審議会に対して持ち帰った意見について、後半議論していきたい。

それでは、ここで一旦休憩をとる。

(休憩 14:50~15:00)

#### 《会長》

それでは会議を再開する。今回行われた意見交換会の中で、いただいた意見のうち、  
審議会に持ち帰る、あるいは検討すると事務局が答えたものがある。したがって、  
その部分について委員の皆さんにご意見をお伺いしたい。いろんな意見があ  
って、持ち帰るとした意見がたくさんあるわけだが、重複するものもあるので、  
並べ替えていただいた資料を提示していただいている。これを参考にしながら  
意見をお伺いする形で進めていきたい。それでは、事務局から整理してご説  
明いただきたい。委員の皆様も、もちろん自由に発言いただければいいが、  
特にご自身の関わる地域の部分については、ぜひ発言をいただければと思  
う。

#### 《事務局》

(事務局説明)

「審議会に持ち帰り検討する」とした項目等、適正規模・適正配置、再編の  
枠組み、スケジュール等の見直しについて、それぞれ順に意見を伺いたい。

まず1番、再編の枠組みについて、審議会中間案では複式解消を最優先課  
題として、基本的に1対1の再編案を提案した。それに対し、将来を見据  
えて、再統合にならないように、複数校同時あるいは旧町で1校とする  
意見をいただいた。また、2番の再編の個別の枠組みについ

での意見で、審議会案あるいは別の枠組みの提案・意見があった。これらについて意見をいただき、最終的な方向性を検討していただきたい。

#### 《会長》

説明があったように、スピード感を持ってすぐに複式解消をするのか、それとも中長期的に見て何回も再編をするのは大変なので大きな枠組みで進めるのか、ということで、相反する意見が出ている。それについての意見を伺いたい。もう一つは、資料2番目の個別の事案について、とりわけ関係のある地域の方にご意見を伺いたい。そして、その意見がそのまま素案として決定していくのではなく、それを含めて審議会としての答申を作り、それを教育委員会に渡して、教育委員会が最終的に決定されることになる。そのため、出せる意見はここで出していきたい。それでは、全般についてのご意見と、個別の事案の意見をお願いしたい。

#### 《A委員》

竹野では、中竹野小学校の統合が決まり、竹野南小学校がどうするかは急がせてはいけないとは思いつつ、竹野小学校と中竹野小学校が統合することはそんなに簡単なことではなく、文化の違いなどもあり、細かいことを詰めていく必要があるが、その1年後に竹野南小学校が統合となった時にはまた同じことをしないと考えると、竹野の場合は、中竹野小学校が来年、竹野南小学校が再来年となるのであれば、1度の方が、しっかりと新しい学校をどうしていくかを話し合うことができる方がいいと思う。ただ、それぞれの校区の方のことを考えると、言い出しにくい。

#### 《B委員》

2段階という案が出ているが、但東町は昔、高橋と合橋の中学校が一緒になって、その後何十年にわたって資母の中学校が統合することができなかった歴史があることを考えると、高橋小学校はすぐにでも望んでおられて合橋小学校と一緒にいる、その後、3年後に必ず統合が可能なのかという確約ができるのかと思う。先に合橋小学校と高橋小学校、次に学校ができてから資母小学校というようなことを確約してからでないといけないのであれば、一気に、早く一つにした方がいいと思う。しかし、いろんな考えがあるので、これがどうなのかとも思う。

現在、但東ではハッピースクールプロジェクトといって、小学6年生が年間で何日間か中学校に通う取組が行われている。例えば、5、6年生を早めに中学校に行くようなことを折衷案でやって、後から、学校ができてから低学年を統合するということもできないかとも考えている。物理的には部屋が余っているので、そういうことを絡ませながら、施設ができてから低学年を持って行くなど、そういったことも考えてみてはどうかと思う。

#### 《C委員》

今回、小小連携の時に担任の先生と話をしたところ、各学校の色が違うことと、授業の進度が違うことで、授業を一つに進めていくのは大変だということを知ったので、先生方の苦勞がすごいのだろうと思った。

このたび、中竹野小学校が統合を希望されたタイミングで、竹野南小学校の方にも、ぜひ前

向きにどうですかと提案をしていった方がいいのではないかと思います。そして、一旦3小学校が統合した上で、中学校との小中一貫教育に対して、中学校の敷地に建てるのか、それとも他の場所に建てるのかを、全体意見としてもう一度聞いて、小中一貫教育はもう一回みんなで考えましょうということで、段階を踏んだ方がいいと思う。

#### 《D委員》

港東小学校・港西小学校の統合を進められたときに、事前に今回の適正規模・適正配置審議会が立ち上がるということが分かっていたら、おそらく待っていたと思う。具体的に城崎の人数や10年後の人数を見たその考えで、おそらく去年の思いと一緒に進んでいたと思う。先ほど別の委員からお話があったが、PTAから声が上がって欲しいという意見があったが、タイミングが難しく、たまたまPTA会長が同じ考えを持っている方が集まって、一気に進めようという気持ちを持った方がその年にいるかどうかが非常に大きな要素になる。今回、この審議会から再編についての考えをお伝えし、また、それぞれの地域の集まりの中で、より人数の減少というのをリアルに分かっていたでいるので、統合してまた再び10年以内に統合の話をしないといけない人数になるのであれば、一気に、もう一つ、もう二つという形の統合を、しっかりと、答えとして提案したいと思う。

#### 《E委員》

先ほど言ったが、随時、一つの学校に入れていったらいいと思っている。本当に一番難しいのは、地域の方を納得させることだと思う。小学校を統合させたがために過疎になってしまう責任はどうしてくれるんだという意見を聞いていたら全く進まないだろうし、おそらく教育委員会でどうこうする問題ではなくなってしまう。そこをどうしていくかである。これから人が増えるかもしれないのに、小学校を無くしてしまったらその希望すら無くなってしまいうじゃないかという意見もあるが、そういう夢の話ではなく、現実路線で進めていかないといけないと思う。そうでないと、説得する、納得させるのは非常に難しい話であるので、そのあたりは市長レベルで進めていかないと難しいだろうなと思う。

#### 《会長》

具体的に、資料2番の再編の枠組みについての出石のNo. 3、4の意見については、何かご意見はあるか。寺坂小学校は福住小学校との再編が望ましいという意見だが。

#### 《E委員》

おそらくこの2つは保護者の意見だと思うが、保護者としたら、弘道小学校、福住小学校、どちらの小学校でもメリット・デメリットが同等にあると思う。私はそれらの校区ではないので、将来的に1つになるのであれば1つでいいと思うが、位置関係で福住小学校が近いという考えは分かる。そこをどうするかだが、福住小学校は統合すると校区面積がとても広くなる。学校がケアできるコミュニティの面積ではなくなる。弘道小学校と比べて校区面積は広くなるので、生徒のケアが難しくなる。バスを走らせるならどちらの小学校に行っても大して変わらないという気もする。ただ、地域住民の方の考えが結構重んじられると思う。

#### 《F委員》

再編の枠組みで気になったのが、中筋小学校・新田小学校・神美小学校の3校統合という意見があったが、子どもの人数を見ると、今の時点では合計400人くらいになってすごく大きい学校になる。10年後を見ても300人くらい見込まれているので、中筋小学校は神美小学校とまず統合するほうがいいのではないかと思う。

#### 《G委員》

同時複数校、あるいは10年後の再編となると、少し議論の中に不確定な要素を入れないといけなくなるので、どうしても問題が複雑化するし、課題が増えてくると思う。そう思うと、単数校で行くべきではないかと思う。企業の合併ではなく、子どもたちの心もあるので、一気に一緒に一度にということは少し乱暴かなというイメージを持つ。複数回しないといけませんが、それは手順を踏むということで、一つ一つ、学校という組織としてはその方がいいのではないかと、素案の方がいいと思う。

#### 《H委員》

今、話を聞いて、但東ではおそらく3小学校が同時に統合するのが理想ではあるが、3小学校同時は難しいのではないかと考えている。特に、高橋小学校に来年入学される新1年生が1人という状況で、3つが統合するのを待っていたらもしかしたら卒業してしまうかもしれないので、もし1年でも早くできるのであれば、先に合橋小学校と高橋小学校の2校で統合してはどうかと思う。2校で統合する意見がまとまったら、資母小学校が少し動かないかなという感じも少しして、そこで3小学校一度になるのか、しかし、待っていたら何年かかかりそうだなと思ったら、2校だけで先に統合することになるかと思う。就学前児の保護者の中には、もし統合が進まないようなら、校区外就学もいとわれないと言われる方もいる。

#### 《I委員》

資料1番の10年後以降を見据えた再編は理想論だと思う。となると、2番の再編の枠組みが妥当だと思う。特に寺坂小学校においては、旧菅谷小学校が先陣で有無を言わずに統合した経過がある。旧室埴村で一つになろうという方向が強く、その区域での再編がいいと思う。今後、もっと先になってからもう一度再編があるとは思いますが、ではその再編を狙っていくといつになるのかという話が必ず出てくる。そういうことを見極めていけば、今、小さいところを統合しておいた方が、これから先を見据えていくにはいいと思う。理想論としては、1町に1校という考えがあると思うが、今、現実を考えると、それはどうかと思う。ただ、先ほども出たが、通学方法はこうしますということを、先に住民に提示できるような形をきちんと押さえておく必要があると思う。比較的集落からバス停が近い場合はいいが、集落からバス停までかなり距離があるところでは、そういうことも考えておく必要があると思う。路線バスでは無理だとなれば、1台バスを回すなど、具体策を考えた中で提案していかないと、「どうするんだ」と言われて「路線バスで」と言ったら反発を受けかねない。そのあたりは、考えは別として、具体策の検討は必要だと思う。

#### 《 J 委員 》

小中学校のあり方意見交換会でも、区長の出席が少ないとの意見があった。区の総会でも施設一体型小中一貫教育について話を出したが、あまり関心がないのか、全く意見が出ない。思っておられるほど地域は反対しておられないのではないかと思う。声の大きい方が、「寂しくなる」とか、「街の真ん中に学校があるのが当たり前だ」というような古い感情論を出されることはあるが、一般の方は、いかどうか分からないが、どちらでもいいのではないかと。私の区には昔中学校があって、現中学校の場所に行くときは、それはすごい反対があったように記憶している。現在、区に 124 軒あって、小学校に 10 人通っている。実家庭は 5、6 軒、後に続く家庭も 2 軒くらい。だから、ほとんどの方が「もう関係はないから、やりたいようにしたらいい」という方が多いと思う。一部の大きな声に惑わされず、今、子どもを持っておられる親が、「こうあるべきなんだ」と言えば、そうならそうしようとまとまるのではないかと思う。一部の反対はあるが、街の真ん中に置けという論理は成り立たないと思う。もっと関心を持って欲しいと思うが、無関心の方が多いように思う中で、先ほども申し上げたように、PTAの方が力をもってやっていただいたら、地域は非常に動きやすいと思う。

#### 《 K 委員 》

5年後に八代小学校は 11 人になってしまう。静修小学校は 35 人。2校を隣接する日高小学校に統合させたら、自分のところだけだったらなんだかんだ言う人が年配の中にはおられると思うが、「自分のところだけじゃないから、もう一つの学校もなくなってしまうんだから、辛抱しようや、ゆっくり考えてやろうや」と言えば、仕方がないなとなるのではないかと思う。大半の人が仕方がないと思っていると思う。できるだけ早く、3校を1つに統合したらいいと思う。

#### 《 L 委員 》

3校一緒というよりは、八代小学校は、日高小学校にまとめるよりは、地理的につながっているし、地域性も考慮して、府中小学校の方がいいのではないかと思う。それから、一度に統合するか、段階を踏んでするか、その判断は、基本的には今複式がある、何年後になりそうかということを見極めてしないといけない。10年以上は大丈夫だということは、現状でいくとして、5年くらいで複式が生じる可能性があるところは、今の間に手を打って、できるものなら統合した方がいいと思う。例えば、3校があって2校が統合するとした場合、その学校は答申案で再編の時期は近くにしておかないと、何でうちだけ取り残されたのかということになりかねない。もし、どうしても複式の見込みのないところで残すのであれば、そこは事前に話しておいた方がいいと思う。他の2校で複式の解消をして、すごくよくなったと良い話があれば、もう1校にも伝わるだろうから、2段階でやる場合も、最初で実績を上げるということは、次につながると思う。

#### 《 会長 》

ありがとうございました。出てきている意見はだいたいよく似ている。理想的には大きくまとめればいいけれども、それによってスピードが遅くなるのであれば意味がない。やはりスピ

ード感の方が優先だということだと思う。もちろん、その次にまた再編ということも大変なのでわかるが、そのような意見だったかと思う。

それでは3番以降について説明をお願いしたい。

《事務局》

3番目、中学校区の再編について、ご意見を伺いたい。意見として、日高西中学校・日高東中学校の再編について、両校に人数の偏りがあるため、人数を均すために区割りを見直してはどうかという意見である。委員さんからのご意見をお伺いしたい。

《会長》

それではご意見を伺いたい。

《K委員》

この2校の中学校は、最終的には統合しないといけないと思う。

《L委員》

私も同じ意見で、校区の区割りを見直すことは単なる数合わせになってしまって、むしろコミュニティ等の問題が出てくると思う。最終的には、委員が言われたように学校統合しか先は無くなってくると思う。校区を変更する手法は良くないと思う。

《会長》

続いて、4番をお願いしたい。

《事務局》

4番、他の旧市町との再編について、基本的にこの審議会では、「原則、旧市町域をまたがない範囲」とすることを原則としているが、旧町で厳密に1つ残さなくてもいいのではないかと、先を見据えて、旧町をまたぐことも検討すべきではないか、というご意見をいただいている。この部分についてご意見をいただきたい。

《A委員》

統合しても10年以内に複式学級ができるぐらい減少が早い、加速している地域もある。そうすると、「旧町域は一つ」という考えもあるし、旧町域を残すということもあるが、現実問題として子どもが本当に少ないので、どうなんだろうという思いもある。しかし、旧市町区域を壊すとなると、行政のほうで難しい問題も出てくると思うので、なんとも言えないが、それぐらい少子化が進んでいるのと、どうしても端の地域もあるので、本当に難しいと思う。

《C委員》

竹野では、意見としては2パターンあって、竹野南小学校は竹野ではなく豊岡の方に行きたいという意見と、いずれ統合しても、また城崎・港地区と統合しないといけなくなるという

2つの意見があると思う。

《J委員》

森本中学校が竹野中学校に統合したときも、森本中学校の方は、豊岡北中学校に行ってもいいのではないかという意見があった。結局は竹野中学校にほとんど来ていると聞いている。現時点では、竹野南小学校は竹野の中で統合すべきと思う。

《会長》

もう一つ、豊岡地域の中筋小学校と日高地域の府中小学校が近いが、こちらもお話を伺いたい。

《K委員》

個人的な意見だが、できたら日高の方に来てもらった方がうれしい。

《L委員》

日高地域と中筋地区は目と鼻の先だが、真ん中で円山川という明瞭な地形で分断されており、交流も少ないと思うので、旧市町をまたぐのは、できれば避けたいと思う。

《会長》

それでは、5番目の再編の時期について、お願いしたい。

《事務局》

5番、再編の時期として、もっと早いスピード感を持ってできないのか、もっと早く協議をするべきではないかというご意見をいただいている。ご意見をいただけたらと思う。

《D委員》

城崎・港の中学校は、複式学級の問題ではなく、部活動の問題が非常に大きくて、生徒はほとんど部活を選べない状態になっている。入学すればこの部活とこの部活、決められていて全然自主選択ではないという意見が非常に強かったことから、そこから来ていると思う。確かに不思議ではないが、できれば、協議という形で早く始めて、部活動の交流からスタートして、そして統合に向けてという流れになれば非常にいいと思っている。

《会長》

三方小学校・清滝小学校についてはどうか。

《K委員》

時期は早い方がいいと思う。あっちもこっちも統合していたら、自分たちも統合したいと思われる方もあるだろうし、その時の雰囲気、統合する雰囲気がいいと思うので、仕方がないなど、遅れたら悪いなという感じになると思う。

《L委員》

今の段階ではどうかと思う。事務局が説明したように、相談をし始めるのは早くていいと思う。そこは間違いない。今はまだ、特にその段階でもないと思う。

《会長》

それでは、6番以降について、一括してお願いしたい。

《事務局》

6番、学校配置について、一つにするのであれば真ん中に置けないかというご意見をいただいている。新たに施設整備が必要という事もあり、課題は大きいと思うが、委員の皆さんにもご意見をお伺いしたい。

7番、その他として、いくつか挙げている。

豊岡小学校については、分散して進学するという課題がある。皆さんからご意見をいただきたい。

次に、分校について、特に低学年の通学の負担が大きいので、分校という方法は考えられないのかという意見をいただいている。

次に、小規模特認校について、検討ができないかということでご意見をいただいている。

最後に、アンケート調査を実施してはどうかという提案があった。

審議会でも意見を伺うこととしたので、ご意見をいただきたい。

《会長》

まず、学校配置について、ご意見をいただきたい。

《D委員》

現状、港中学校はかなり古い校舎を長年建て替えもなく使っているの、港地区からしたらいずれはと考えていたので、もし一緒になっても港中学校を使うことはないだろうと港地区の方々は感じていると思う。そして、先ほど言った城崎の観光、交通量の問題がクリアになれば、おそらく城崎にということになるかと思うし、観光地として、場所はどこがいいか、何かいい案があるとするなら、おそらく桃島バイパス、現在の城崎振興局の横の辺りに学校をとという意見もあるので、その案に従う可能性の方が、地域の方は多いと思う。

《C委員》

地域の真ん中に学校をとということで、ここは感情的なところで、実質、バスに乗ってしまったら、多分数分のことではあるが、この感情をクリアするのは、難しいのかなと思う。小中一貫の中で、子どもは子どもの中でということを中心に考えると、この案はまず無くなるだろうと思う。

《J委員》

六方田んぼのど真ん中にある新田小学校を思い出すが、地域の真ん中という思いは、言

われたように感情論だとは思いますが、現在、竹野中学校の隣で施設一体型小中一貫校にするのか、現竹野小学校を建て替えるのか、この2本立てだと思うので、議論にはならないと思う。

《会長》

7番の(1)、豊岡小学校の分散進学について、ご意見をお願いしたい。

《L委員》

豊岡小学校は、以前から問題になっている。この審議会で検討すべきかということについて、改めて諮問書を見ると、「豊岡市立小中学校における適正規模・適正配置のあり方」とある。学校を動かすわけではないので、配置ではない。適正規模としても、審議会でどうこうすることではないと思う。校区審議会での案件だと思う。児童・保護者の気持ちは分かるが、この問題は、この審議会で議論することにはならないのではないかと思う。

《会長》

それでは7の(3)、小規模特認校についてはどうか。

《K委員》

もちろんわざわざ来たいという方がおられるなら、喜んで手を挙げて賛成であるが、そんなにメリットがあるのだろうか。来たいという人がいるならもちろん大歓迎だが、実際はどうかと思う。

《L委員》

取組としては面白いと思うが、このことによって複式が解消できるだろうか。とてもではないが、複式の解消にはつながらないと思う。

《会長》

6番以降、これまで関係する委員からご意見をいただいた。その他の委員からもご意見があれば伺いたい。

《E委員》

1、2年生は分校でという意見があるが、やはり上級生を見ない1、2年生というのは、成長過程において問題が発生すると思う。6年生の子を見て1年生が育つと思う。2年生が一番上の学校というコミュニケーションを作ってしまうと、3年生になって大きいところに行ったときに、そこで1、2年生でつながっていたことが、見てきたことに差が出てきてしまうことになる。成長過程で問題が発生すると思うので避けた方がいいと思う。

《会長》

他にご意見はないか。それでは、いただいた意見を事務局で整理していただいて、適正規模・適正配置、再編の枠組み、あるいはスケジュールを再検討して、答申のたたき台を作って

いただき、次の審議会で提案していただきたいと思う。

議事としては以上となるが、何かあるか。なければ以上とする。

以上